

会 議 録

会議の名称	平成23年度第3回所沢市地域自立支援協議会定例会
開催日時	平成24年3月29日(木)午後2時00分から午後4時
開催場所	所沢市役所全員協議会室
出席者の氏名	会 長 鈴木 喜代子 副会長 谷田 悦男 委 員 高野 美喜子、 高橋 祐二、 林 さつき、 小原 共子、 内田 季之、 四ノ宮 美恵子、 石川 いずみ、 小野寺 健、 長池 育美、 長谷川 陽子、 守谷 義美、 池田 誠、 原田 真哉、 小林 宏治、 松本 弘、 柳本 愛子
欠席者の氏名	委 員 市川 博子、 原沢 優美子
説明者の職・氏名	
議事	1 平成23年度下半期各部会活動報告について 2 平成23年度下半期所沢市相談支援事業委託事業所の事業報告について 3 平成24年度所沢市相談支援事業所の事業計画等について 4 その他
会議資料	・ 次第 ・ 部会活動報告 ・ 相談支援事業実績報告書 ・ 平成24年度相談支援事業計画
担当部課名	事務局 保健福祉部障害福祉課 課長 磯野 尊治 保健福祉部障害福祉課 副主幹 青木 一圭 保健福祉部障害福祉課 主査 喜多濃 文人 保健福祉部障害福祉課 主査 森田 茂明 保健福祉部障害福祉課 主査 新井 猛 保健福祉部障害福祉課 主任 石山 大 保健福祉部障害福祉課 04 - 2998 - 9116

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	1 開会
会 長	開会挨拶
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所沢市地域自立支援協議会運営要綱第6条により会長が議長となる旨の確認 ・ 配布資料の確認 ・ 協議会に関して、会議は所沢市情報公開条例第25条により原則公開であること、会議録の記載方法については要約方式をとること、発言者名の記載については省略とすることの確認
会長	傍聴希望者数の確認（傍聴希望者はなし）
	2 議事
	（1）平成23年度下半期各部会活動報告について
委 員 （くらし部会）	<ul style="list-style-type: none"> ・ くらし部会の活動報告 障害特性に応じた支援方法について、民生委員との合同研修会をおこなった。
委 員 （しごと部会）	<ul style="list-style-type: none"> ・ しごと部会の活動報告 市内就労移行支援事業所の次年度の取り組み予定について報告をし合った。
委 員 （こども部会）	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども部会の活動報告 委員と意見交換をして、課題の抽出をおこなった。
委 員 （けんこう部会）	<ul style="list-style-type: none"> ・ けんこう部会の活動報告 口腔ケア研修をおこなった。
	（2）平成23年度下半期所沢市相談支援事業委託事業所の事業報告について
委 員 （所沢しあわせの里）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所沢しあわせの里の相談支援事業報告 ピアグループほのぼのによるピアカウンセリングを終了した。今後は、他の社会資源へ繋げて対応したい。
委 員 （ところざわ障がい者相談支援センター）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ところざわ障がい者相談支援センターの相談支援事業報告 支援者同士の横の繋がりによる紹介で、障害者の家族にも障害があるケースの対応が多かった。
委 員 （さぱっと）	<ul style="list-style-type: none"> ・ さぱっとの相談支援事業報告 障害者の家族に関する相談が多かった。婚姻した障害者の夫婦生活の支援や、障害者とその母の母子分離など。 月に一回程度、福祉施設の指導支援を行った。一般企業が福祉施設を開設したときに、障害特性の理解や、障害者へ指導する際の注意点について、アドバイスを行った。

委員 (ぼぶり)	<ul style="list-style-type: none"> ぼぶりの相談支援事業報告 <p>障害福祉サービスの利用についての相談が多い。母子家庭で、母が働いている間の、障害児の見守りを、全てサービスで賄うことはできないので、対応に苦慮した。</p>
	(以下、各委員から次のとおり意見)
委員 (狭山保健所)	けんこう部会で行われた、口腔ケア研修について伺いたい。
会長	所沢市歯科医師会が主催し、歯科治療とともに日々のブラッシングの重要性を、障害関係事業所に広めたいとの趣旨で、ブラッシングの研修をした。
委員 (所沢しあわせの里)	相談支援で、権利擁護のための介入をしている事例が、まだ少ないので、ところざわ障害者相談支援センターで、どのような対応をしたか、教えてほしい。
委員 (ところざわ障害者相談支援センター)	児童相談所、民生委員から繋がったケースで、母が精神的に不安定で、子供への虐待が疑われた。父が朝から夜遅くまで仕事で、家庭を顧みる時間と余裕がなかった。母へは、保健センターの支援も入った。子供が高校に入学すると、母が安定し、現在は虐待も落ち着いている。
委員 (成人保健課)	職員の質の担保と、相談事業所同士の繋がりについて伺いたい。
委員 (相談支援5事業所)	困難ケースは、所内でケース検討を行い、外部研修にも積極的に参加している。相談支援事業所同士では、それぞれの得意分野について、それぞれ相談をしている。
	(3)平成24年度所沢市相談支援事業所の事業計画等について
委員 (所沢しあわせの里)	報告書にもとづき、所沢しあわせの里の相談支援事業報告。
委員 (ところざわ障がい者相談支援センター)	報告書にもとづき、ところざわ障がい者相談支援センターの相談支援事業報告。
委員 (ぼぶり)	報告書にもとづき、ぼぶりの相談支援事業報告。
委員 (さぼっと)	報告書にもとづき、さぼっとの相談支援事業報告。
委員 (所沢どんぐり)	報告書にもとづき、所沢どんぐりの相談支援事業報告。
	(以下、各委員から次のとおり意見)

委員 (就労支援センター)	相談件数の増加、権利擁護や計画相談など、新たな業務が加わると思うが、人材の確保について、どのように考えているか伺いたい。
委員 (相談支援5事業所)	計画相談の報酬によって予算の目途が立てば、人員増加も考えたいが、現状では様子見である。
委員 (高齢者支援課)	各事業所の運営方針が、若干違っているが、市との委託契約に違いがあるのか。
事務局	5事業所とも、同じ内容の委託契約をしている。所沢しあわせの里とところざわ障害者相談支援センターの2事業所は、上乘せで、機能強化事業の委託をしている。
委員 (狭山保健所)	5事業所は、指定特定相談の指定の取得状況に、違いがあるのか。
事務局	5事業所とも、全ての指定を受けている。
	4 その他
委員 (所沢しあわせの里)	<p>自立支援協議会の部会を編成し直した。</p> <p>今年度はこども部会に力を入れたいので、こども部会の委員を増やした。</p> <p>けんこう部会としごと部会は、くらしの一部ということで、くらし部会に吸収した。くらし部会は扱う内容が広いので、しごとについては、力を入れる柱立てのひとつとして、対応していきたい。</p> <p>計画相談が始まるため、相談支援部会を創設した。</p> <p>この事務局案について、各委員から意見を伺いたい。</p>
委員 (複数)	<ul style="list-style-type: none"> ・けんこう部会がくらし部会に吸収されても、活動に支障はないと思われる(成人保健課) ・就労支援センターでは就労事業所同士の意見交換をしているが、しごと部会では、具体的な体験の場づくりを考えていきたかった。(就労支援センター) ・事務局案に従いたい。(こども支援課、就労支援センターほか) ・これまでどおりの部会の開催回数が確保されるのか疑問である。(高齢者支援課)
会長	今年度は、事務局案で進めていきたいが、各委員の意見を取り入れて、進めていきたい。
副会長	閉会挨拶